

科目名	インターンシップ2							年度	2026
英語科目名	Internship 2							学期	後期
学科・学年	情報処理科 1年次	必/選	選	時間数	150	単位数	5	種別※	実習
担当教員	インターンシップ先担当者	教員の実務経験		有	実務経験の職種		IT関連職種		
<p>【科目の目的】 インターンシップとは、学生が在学中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことを指します。本カレッジのインターンシップは、産業界の協力を得て、実践的な体験と動機づけを通じて将来の企業人を育成することを目的としています。このインターンシップを通じて、以下のような学習効果が期待されます。 企業における仕事の流れや進め方を理解すること。 企業の組織構造や、人間関係、ルールを理解すること。 学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけを行うこと。</p>									
<p>【科目の概要】 インターンシップとは「就労体験」を指し、本カレッジでは長期インターンシップを夏休みに実施している。夏季インターンシップは学校のサポートのもと、1年次の8月から9月にかけての夏休み期間に行われ、期間は1～2週間が一般的である。これは、授業で学んだ知識やスキルを実際の現場で活かす機会となり、各企業では実践的なカリキュラムが提供される。実習は受入企業やそのユーザ先企業の社内で行われ、最終的な評価は各企業の担当者によって行われる。</p>									
<p>【到達目標】 本インターンシップの到達目標は、学生が在学中に専攻分野や将来のキャリアに関連した就業体験を通じて、実践的なスキルを習得し、将来の企業人として成長するための動機づけを高めることにある。具体的には、以下の点を重視する。 企業における仕事の流れや進め方を理解すること。 企業の組織構造や、組織内での人間関係・ルールを理解すること。 学校で学んだ知識が社会でどのように活用されるかを確認し、今後の学習意欲を高めること。 また、インターンシップに参加する前には各自が明確な目標を設定し、その経験を今後の学生生活や学習に活かせるよう意識して取り組むことを期待している。</p>									
<p>【授業の注意点】 インターンシップ開始前には、担当教員との顔合わせを行い、事前にインターンシップ活動賠償責任保険（総合賠償責任保険）に加入する必要がある。勤務時の服装は、受入先から特別な指定がない限り、スーツが基本である。期間中、電車遅延や体調不良などで遅刻や欠勤が必要な場合は、必ず電話で連絡を行うこと。無断欠勤や勤務態度が悪い場合には、インターンシップを中断する可能性があるため、やむを得ない事情がある場合は、速やかに受入先企業と担任へ連絡すること。また、社会人として必要なマナーを守り、積極的にインターンシップに参加することが求められる。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標A	企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解し実践できる			企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解しているが、実践できない				企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解していない	
到達目標B	企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解している			企業の組織構造を理解していない、または組織における人間関係やルールを理解していない				企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解していない	
到達目標C	学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解し、今後の学習への動機づけをすることができる			学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解しているが、今後の学習への動機づけをすることができない				学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解しておらず、また今後の学習への動機づけをすることができない	
到達目標D									
到達目標E									
<p>【教科書】 資料を配布する。</p>									
<p>【参考資料】</p>									
<p>【成績の評価方法・評価基準】 実習期間中に行われる成果発表の内容や発表方法に基づいて評価する。 実習への積極的な参加度や勤務態度を評価する。</p>									
<p>※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。</p>									

科目名		インターンシップ2			年度	2026
英語表記		Internship 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	インターンシップ参加(1)	会社概要、就業規則及び情報セキュリティの説明、実習の内容などを理解する	1 企業研究	会社概要と就業規則を理解する	3	
			2 情報セキュリティ	就業時の情報の取扱い方とリスクについて理解する		
			3 業務内容	インターンシップで行う業務内容を理解する		
2	インターンシップ参加(2)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
3	インターンシップ参加(3)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
4	インターンシップ参加(4)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
5	インターンシップ参加(5)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
6	インターンシップ参加(6)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
7	インターンシップ参加(7)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
8	インターンシップ参加(8)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
9	インターンシップ参加(9)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
10	インターンシップ参加(10)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
11	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
12	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
13	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
14	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
15	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等